

○池谷委員長 ただいまより建設経済常任委員会を開会する。

当委員会に付託された議案は3件である。審査順序はお手元に配付の審査順表のとおりとして進めたいと思うが、御異議はないか。（異議なし）

議案の審査に入る。

議第56号「平成30年度焼津市一般会計補正予算（第9号）案」中、当委員会に付託された部分及び議第58号「平成31年度焼津市一般会計補正予算（第1号）案」中、当委員会に付託された部分は関連があるので一括して議題としたいが、御異議はないか。（異議なし）

それでは、一括議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○池谷委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○須崎委員 議第58号の案件につきまして説明をいただきたいと思います。まず、歳出、8款3項3目 水路改良費ということで、潮風グリーンウォークの整備事業では盛土をするような形になるんですが、その辺のところは国が行うんでしょうけれども、事業と合わせてどのような形で盛土をされるのか御説明をいただきたいと思います。

○八木河川課長 国が行います駿河海岸の粘り強い海岸堤防の改良と合わせまして、栃山川右岸の一角から藤守地区にかけての延長約1.85キロメートル区間につきまして、堤防の背面に盛土を行っていくものであります。

以上です。

○須崎委員 こういう形で盛土されるということは、非常に堤防が強固になるのかなというふうに感じますので、その辺のところも早急に事業が進むことを望んでおりますので、よろしく願いいたします。

○杉崎委員 説明をいただいて見ていたんですけども、結局、今議第58号と議第56号の関係なんですけど、当てはまってくる原資の出どころが違ってきたよという解釈でいいのか、簡単に言うと。例えば、こっち側でやっている都市区画の関係に防災・減災の、要は公金に変わってくるという、それが変わるためにその同じ金額でも変えてくるのかなという解釈でいいのか、少し。

○増田区画整理課長 原資といいますか、まず、防災・減災がついていない、会下ノ島石津土地区画整理事業、都再区画でございますけれども、こちらは通常のいわゆる当初予算に載った場合、市の中の予算がわかりやすいように防災・減災をくっつけない都再区画という、これがいわゆる国から来る金種といいますか、国から来るお金の名前でございますので、それでもらっているものですからその名前をつけたと。

次に、ここ数年行われております経済対策とかこういった防災・減災の対策ということで、そういった目的で追加補正でいただいているものにつきまして、あくまでも国のほうの平成30年度の予算でございますので、それを区分けするために防災・減災という名前をつけて市のほうで区分けしていると、要は予算年度がもう違うものですから。も

ちろん国のお金の出どころといたしますか、系統は同じなんですけれども、年度予算が違うということで、市の予算の名称を区分けしているというところがございます。基本的には都市再生区画整理事業という事業の中でのお金でございます。

以上でございます。

○杉崎委員 そうすると、そこに今度防災・減災が加わると、何かメリットってあるんですか。

○増田区画整理課長 メリットにつきましては、補助金の率が例えば、今回の場合、私どもの場合3分の1でございますけれども、その場合、後ろの3分の2は市のほうで負担しなければならないと。その点、起債を入れさせていただくんですが、追加の今回の防災・減災の場合は100%起債を充当できるということでございまして、要は市の持ち出し分がなくて済むものですから非常に事業がやりやすいということで、そういったメリットがございます。

以上でございます。

○杉崎委員 わかりました。そうすると、今の例だと、2億6,600万円を起債で100%カバーできるよと。残りの1億3,300万円は国からの資金で、総額3億9,900万円の予算が組める。それじゃ、その関係でなんですけど、今度議第56号のほうの、両方とも関係するんですが、15款県支出金、2項6目土木費県補助金の地籍調査の関係なんですけれども、これも防災・減災という名前に入れかえますけれども、その防災・減災で使えるのって何か条件があるんですか。例えば、この地籍調査をやるのに豊田のほうをちょっとやろうとか、それとか大井川の、あっ、大井川はもう全部できているか、もっと何とかやろうとかいう、そういうことの場所の制限って出てくるのかどうか、条件が加わるのかどうかというところを教えてください。

○杉山公園・地籍課長 今回、地籍の関係で研究補助事業としての名称を防災・減災というふうにしております。この補助金は、市としては県からの補助金という扱いになるんですが、その補助金の中には国の補助金も含まれております。それで、国の目的上、防災・減災ということを目的とした補助金として前倒しの追加をせいということになっております。それで、今回御質疑があったとおり、防災・減災の補助金になった場合に、地区の指定とかというのはあるのかなというような御質疑だったと思うんですけれども、基本的にはここじゃないとできないというようなものはございません。ただ、今、地籍調査の事業の進捗方法としましては住宅密集地をメインにちょっとやっているものですから、どうしても沿岸部から事業を進めていくというようなところで今後も進めていきたいなと思います。

以上でございます。

○杉崎委員 そうしますと、市域どこでもこの防災・減災という名前がついても使えるということですか。

○杉山公園・地籍課長 基本的にはどこの地区でも使えると思います。ただ、今焼津市としての方針としましては、事業の継続性などを考えまして、住宅密集地である沿岸部を中心に進めていくということでやっております。

以上でございます。

○杉崎委員 それじゃ、これは希望的なところなんですけど、沿岸部もそうなんですけど、山

間部もなかなか危険なところがあるものですから、防災・減災という名前がついていたら、そちらのほうもちょっと着目していただければと思います。ありがとうございました。

○山田建設部長 建設部のほうは、議第58号のほうで潮風グリーンウォーク整備事業費、これは単純に追加をしております。前倒しではございません。追加をしております、平成31年度事業を前倒ししたというより追加をしております、これは起債の事業で行っております。国が堤防の補強をして、その上面に市が整備をする、その盛土工事を追加で起債の事業で行うということでございます。

○池谷委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第56号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第9号)案」中、当委員会に付託された部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

◇採決の結果、議第58号「平成31年度焼津市一般会計補正予算(第1号)案」中、当委員会に付託された部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○池谷委員長 議第57号「平成30年度焼津市港湾事業特別会計補正予算(第8号)案」を議題とし、当局の説明を求める。

(当局説明)

○池谷委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○須崎委員 議第57号の案件について、2点ほどお伺いいたします。

まず、防災・減災、国土強靱化のための3カ年の緊急対策はどのようなことが行われるのかお伺いする。

もう一点は、海岸保全事業ということで、歳出の2款1項3目海岸保全、これは胸壁工の具体的な補正内容についてお伺いいたしますので、答弁、お願いをいたします。

○手塚大井川港管理事務所長 委員のほうの質疑に答えさせていただきます。防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業とはどのようなことかということだと思いますけれども、この事業につきましては国の施策として行われるもので、近年の災害に鑑み、重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策を平成32年度までの3カ年で集中的に実施し、進捗を図るものであります。

それと、もう一つ、今年度、この補正の事業の内容であります、今月に完了しておりますけれども、今年度事業の引き続き、それから70メートルを大井川管理事務所側のほうへ進めるといふ事業であります。

以上です。

○須崎委員 近年は本当に各地域で災害が発生しております。そのような災害に向けた取り組みというのは非常に大切なことかなというふうに思っておりますので、その辺のところは対策に対して取り組んでいただきたいというふうに思っております。

もう一点、胸壁工のほうも、やはりこの海岸の保全整備事業というのは早く事業が進めば早く進んだだけ保全という形になりますので、そういうところも早急に完了するよ

うな形になればいいかなというふうに思っておりますので、期待をしておりますのでよろしくお願いたします。

○秋山委員 関連しまして、今の海岸の保全の計画なんですけれども、これをするこによって計画のうちのどのぐらいまでこれのできるんだというような説明はありますでしょうか。

○手塚大井川港管理事務所長 今回の大井川港の海岸保全施設整備事業ですけれども、一応今の計画としては、今始まった北防波堤という防波堤があるんですけれども、そこからずっとって田中川の河口口までの1,200メートルが計画されております。今回の認めてもらったところにつきましては、河口口、今年度、工事を始めたところからおおむね200メートルまでが今回3カ年計画で認められておりますので、その区間を優先的に進めていくという形になっております。なので、今のところで言うと1,200メートル中200メートルで再来年度、3年で200メートルです。

○池谷委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第57号「平成30年度焼津市港湾事業特別会計補正予算(第8号)案」は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○池谷委員長 以上で当委員会に付託されていた議案の審査は終了した。
これで建設経済常任委員会を閉会とする。

閉会(14:34)